

PGF生命、 「人生の満足度に関する調査 2018」を実施

「これまでの人生に満足」45%、シニア世代の「人生不満足度」が上昇傾向
2018年の人生の満足度を上げてくれたニュース 1位「大坂なおみさん全米オープン優勝」
さよなら平成！平成の名言 1位は五輪アスリートのあの言葉

PGF生命（ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社、代表取締役社長 兼 CEO 阪本 浩明）は、2018年10月9日～10月11日の3日間、20～79歳の男女を対象に「人生の満足度に関する調査 2018」をインターネットリサーチで実施し、2,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。

2015年に開始した「人生の満足度に関する調査」は、今年で4年目の実施となります。PGF生命は、すべての人々が安心していきいきとした生活をおくれるよう、生命保険ビジネスを通じて応援します。
（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

<調査結果ハイライト>

第1章：数字で見る人生の満足度

- 「これまでの人生に満足」45%、昨年調査よりシニア世代の「人生不満足度」が上昇傾向
- 働いている人の「仕事満足度」は42% 若い世代ほど満足度は低い傾向に
- 景気回復は未だ実感できず 「報酬に満足していない」49%、昨年比6ポイント上昇
- 労働環境の満足度は高め 「休暇の取りやすさ」「労働時間」には働く人の半数以上が満足
- 老後への備えの満足度 約6割が「満足していない」、50代では7割近くに
- パートナーへの満足度ではシニア世代の男女間ギャップが鮮明に！
男性では60代・70代の満足度が1位も、女性では60代・70代の満足度がワースト1位
- どんな夫・妻でありたい？ 男性回答1位「頼れる夫」女性回答1位「優しい妻」
- イマドキ男子はパートナー選びで「収入の安定」を重視？20代男性では昨年比14ポイント上昇

第2章：2018年、人生の満足度を上げてくれたモノ・コト

- 2018年を振り返った満足度 「今年一年の生活に満足」39%、生活満足度は西高東低の傾向
- 今年、人生の満足度を上げてくれた趣味・レジャー 「旅行」がダントツ
- 熱中しすぎも要注意？今年、ハマりすぎて人生の満足度がダウンしたもの
20代女性では「SNS」が2年連続ワースト1位に
- 2018年の人生満足度を上げてくれたニュースは「スポーツ」関係がトップに
1位「大坂なおみさん全米オープン優勝」、2位「サッカーワールドカップでの日本代表の躍進」

第3章：平成の時代を振り返る

- さよなら平成！平成時代の満足度を点数化すると？ 平均点は「61点」
最も高かったのは平成生まれの20代女性「70点」、低かったのは40代男性「53点」
- 時代を漢字一字で振り返り 「平成」を表す漢字 男性回答1位「平」、女性回答1位「苦」
- 人生の満足度を上げてくれた平成生まれのもの 1位「スマートフォン」
YouTubeのおかげ？20代女性の4割半が「動画サイト」で人生満足度アップ
- 感動を与えてくれた平成のアスリート 1位「羽生結弦さん」 あの野球選手も上位にランクイン
- 平成を代表する歌手 男性歌手は1位「Mr.Children」、女性歌手は「安室奈美恵さん」がダントツ
- 心に刻みたい、平成の名言 1位は「チョー気持ちいい」（北島康介さん・平成16年）

■■会社概要■■

会社名 : プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 阪本 浩明
営業開始 : 2009年6月1日
本社所在地 : 東京都千代田区永田町 2-13-10
業務内容 : 生命保険業
(営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険)

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「PGF生命調べ」と付記のうえご使用いただきますようお願い申し上げます。

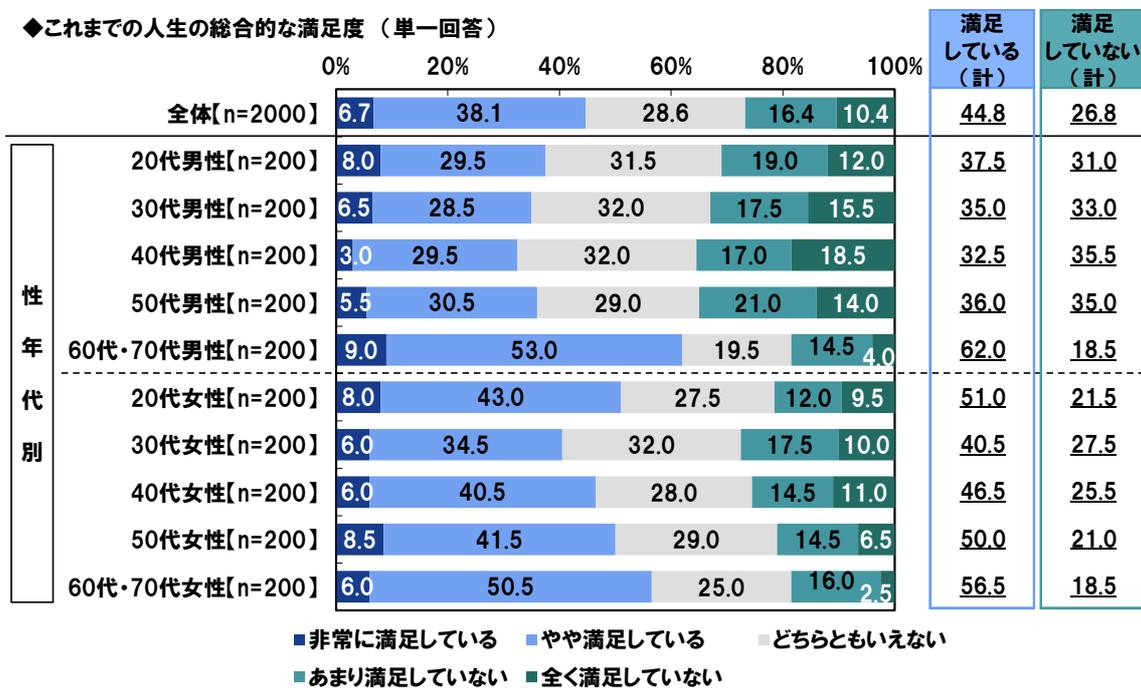
第1章：数字で見る人生の満足度

■「これまでの人生に満足」45%、昨年調査よりシニア世代の「人生不満足度」が上昇傾向

20～79歳の男女2,000名（全回答者）に、これまでの人生について、どの程度満足しているかを聞きました。

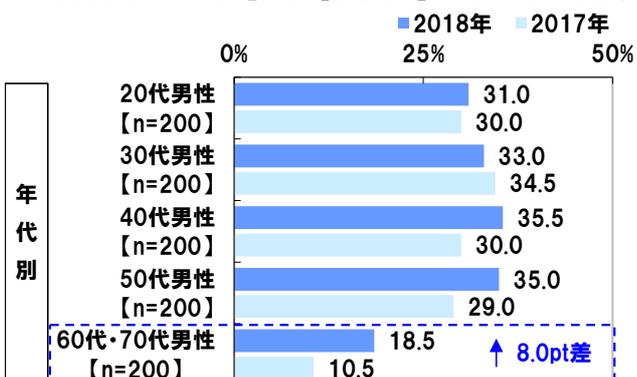
まず、《これまでの人生の総合的な満足度》を聞いたところ、『満足している』（「非常に」と「やや」の合計、以下同じ）は44.8%、『満足していない』（「全く」と「あまり」の合計、以下同じ）は26.8%、「どちらともいえない」は28.6%となりました。これまでの自身の人生を振り返ったとき、満足のいくものだったと感じている人が多いようです。

性年代別にみると、『満足している』の割合は20代から50代までは男性よりも女性のほうが高い傾向がみられ、20代（男性37.5%、女性51.0%）や40代（男性32.5%、女性46.5%）、50代（男性36.0%、女性50.0%）では女性のほうが10ポイント以上高くなりました。

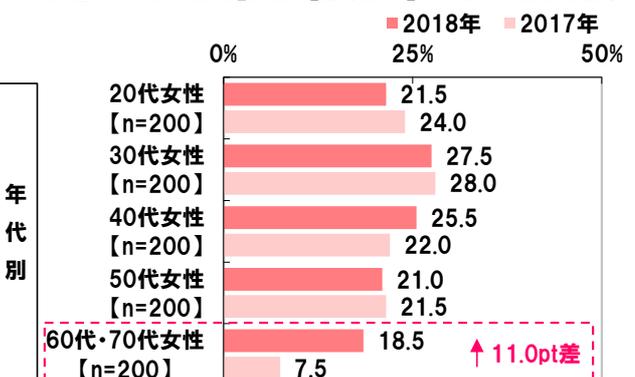


昨年の調査結果と比較すると、『満足していない』の割合が60代・70代男性では2017年10.5%→2018年18.5%と8.0ポイントの上昇、60代・70代女性では2017年7.5%→2018年18.5%と11.0ポイントの上昇となり、シニア世代の「人生不満足度」の上昇傾向がみられました。

◆人生の総合的な満足度について満足していない人の割合 ※『満足していない(計)』『全く』と『あまり』の合計の割合を表示



◆人生の総合的な満足度について満足していない人の割合 ※『満足していない(計)』『全く』と『あまり』の合計の割合を表示

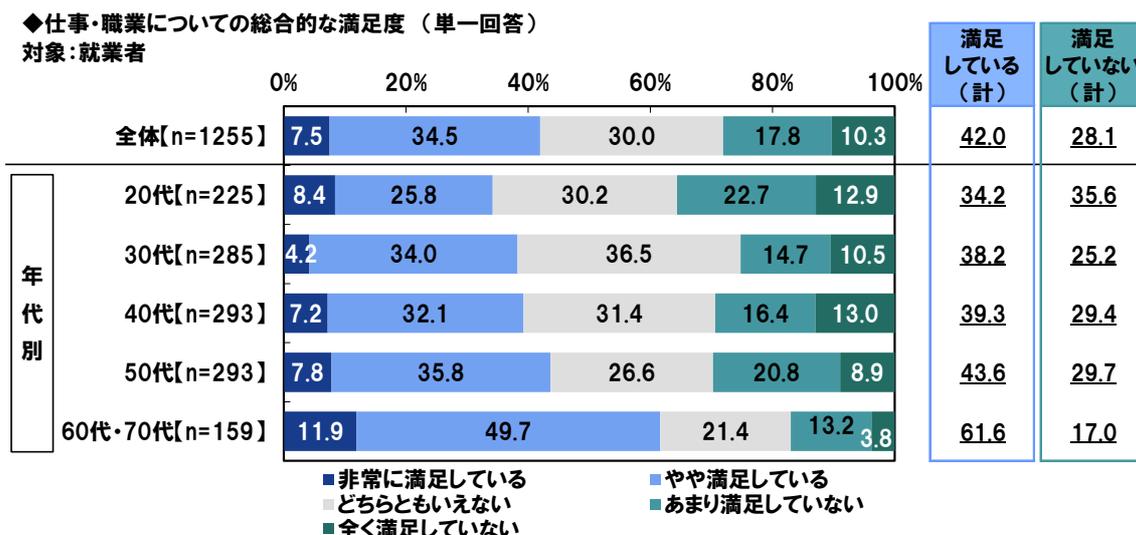


- 働いている人の「仕事満足度」は42% 若い世代ほど満足度は低い傾向に
- 景気回復は未だ実感できず 「報酬に満足していない」49%、昨年比6ポイント上昇
- 労働環境の満足度は高め 「休暇の取りやすさ」「労働時間」には働く人の半数以上が満足

次に、就業者（1,255名）に対し、仕事に関する満足度を聞きました。

《仕事・職業についての総合的な満足度》を聞いたところ、『満足している』は42.0%、『満足していない』は28.1%、「どちらともいえない」は30.0%となりました。

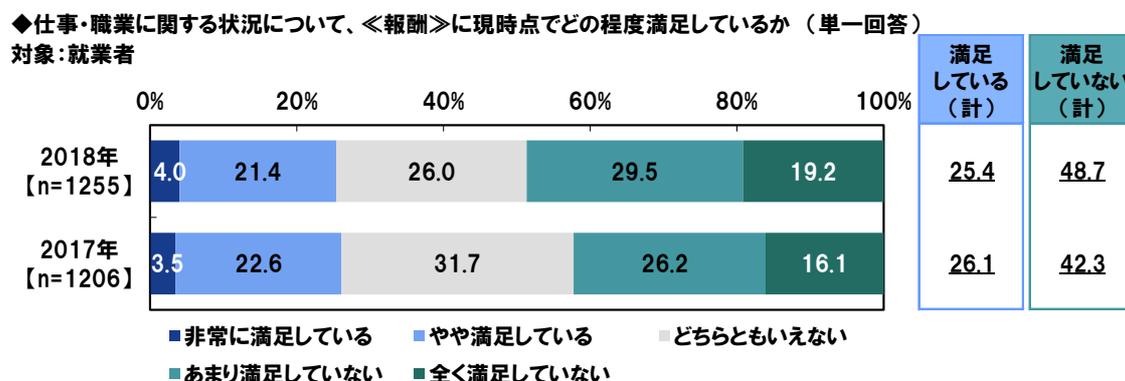
年代別にみると、『満足している』の割合が最も低かったのは20代（34.2%）で、30代（38.2%）、40代（39.3%）、50代（43.6%）、60代・70代（61.6%）と世代が上がるにつれ高くなる傾向がみられました。仕事での経験を重ねている人が多い世代ほど、満足度が高くなっているようです。



では、具体的にはどのような点に満足を感じているのでしょうか。

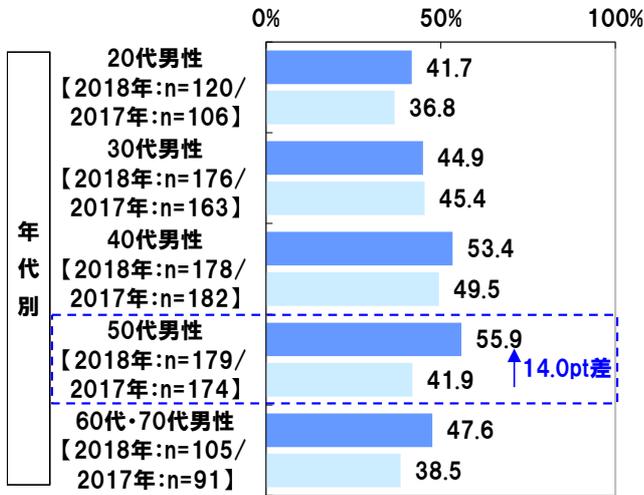
《報酬》に現時点でどの程度満足しているか聞いたところ、『満足している』は25.4%、『満足していない』は48.7%、「どちらともいえない」は26.0%となり、満足していないという人が多い結果となりました。

昨年の調査結果と比較すると、『満足していない』の割合は2017年42.3%→2018年48.7%と、6.4ポイントの上昇となりました。景気回復を未だ実感できていない人が多いようです。

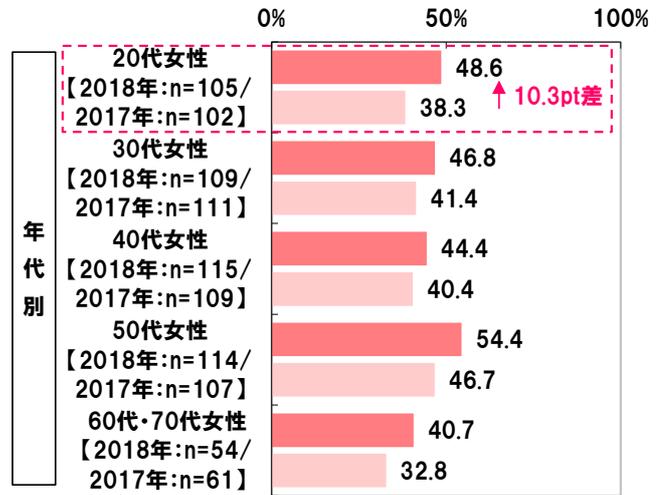


性年代別に『満足していない』をみると、50代男性では2017年41.9%→2018年55.9%と14.0ポイントの上昇、20代女性では2017年38.3%→2018年48.6%と10.3ポイントの上昇となりました。

◆《報酬》について満足していない男性の割合 対象:就業者
※『満足していない(計)』(「全く」と「あまり」の合計)の割合を表示
■2018年 ■2017年



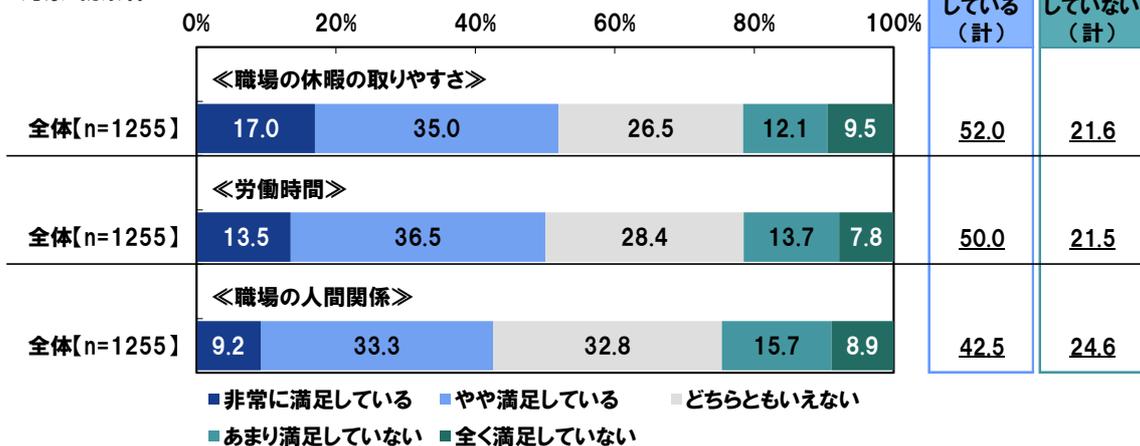
◆《報酬》について満足していない女性の割合 対象:就業者
※『満足していない(計)』(「全く」と「あまり」の合計)の割合を表示
■2018年 ■2017年



また、《職場での休暇の取りやすさ》については、『満足している』が52.0%、『満足していない』が21.6%となり、《労働時間》については『満足している』が50.0%、『満足していない』が21.5%となりました。休暇の取りやすさや労働時間といった労働環境については、満足できているという人が多いようです。

そのほか、《職場での人間関係》についても聞いたところ、『満足している』は42.5%、『満足していない』は24.6%となりました。

◆仕事・職業に関する状況について、現時点でどの程度満足しているか（各単一回答）
対象:就業者



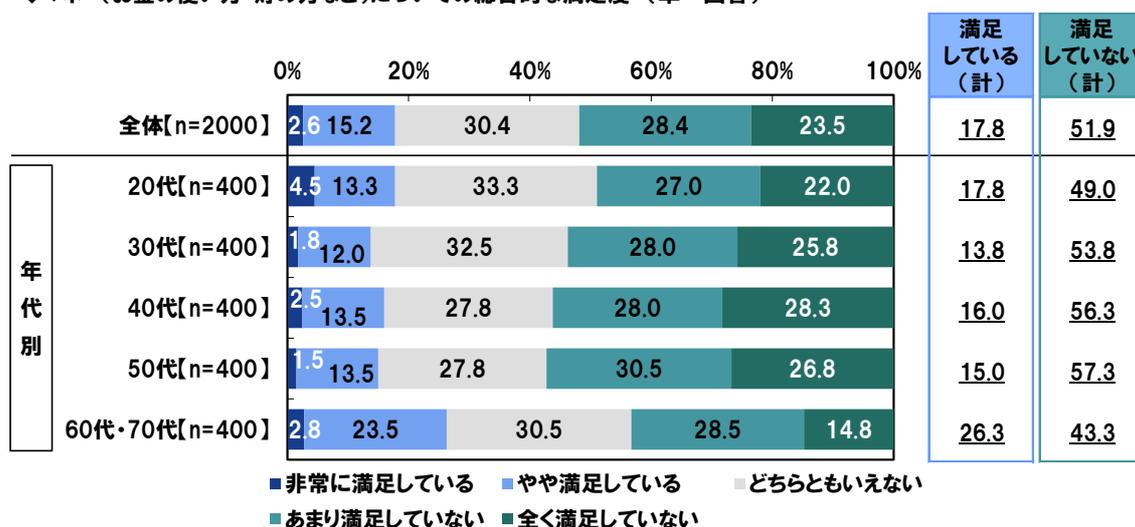
■老後への備えの満足度 約6割が「満足していない」、50代では7割近くに

続いて、全回答者（2,000名）に、お金の使い方や老後への備えなど、自身の経済状況に関する満足度を聞きました。

「マネーについての総合的な満足度」を聞いたところ、『満足している』は17.8%、『満足していない』は51.9%となり、満足していない人が半数以上という結果でした。

年代別にみると、『満足していない』の割合は50代（57.3%）が最も高くなりました。

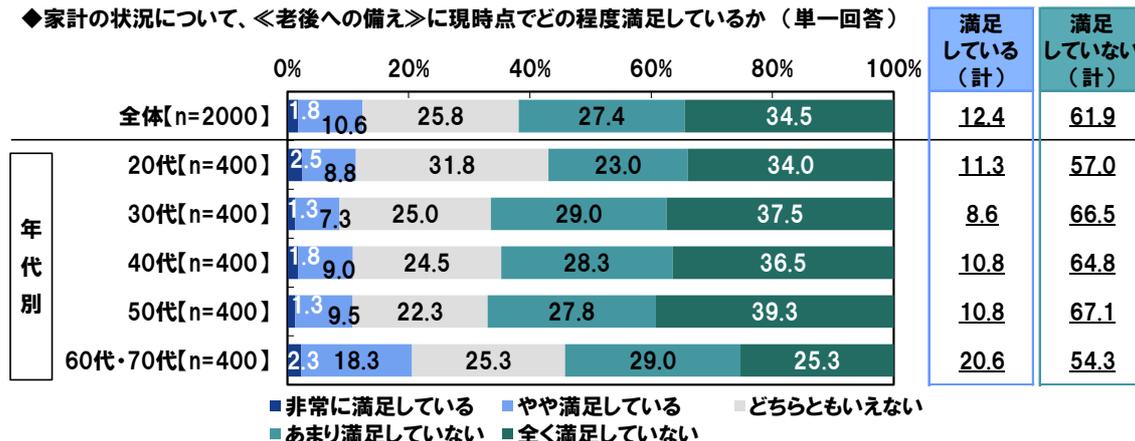
◆マネー（お金の使い方・貯め方など）についての総合的な満足度（単一回答）



また、「老後への備え（公的年金、個人年金保険など）」については、『満足している』が12.4%、『満足していない』が61.9%となりました。

年代別にみると、『満足していない』の割合が最も高かったのは50代（67.1%）でした。50代はシニア予備軍といわれる年代ですが、老後資金のための準備が満足にできていないと感じる人が多く、マネーについての総合的な満足度の低さにも繋がっているのかもしれない。

◆家計の状況について、「老後への備え」に現時点でどの程度満足しているか（単一回答）



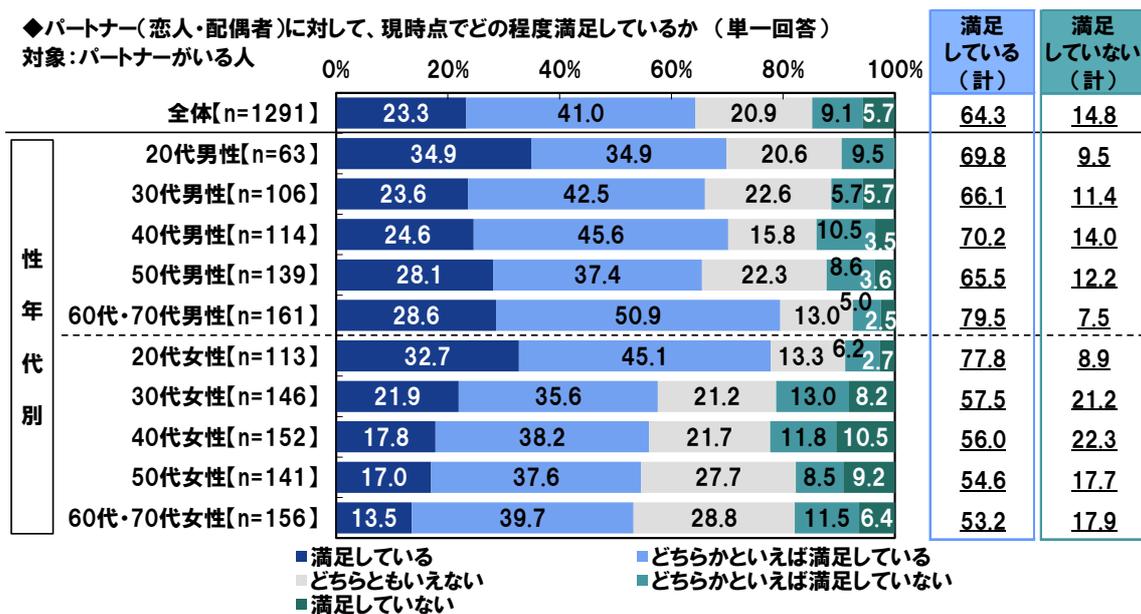
■パートナーへの満足度ではシニア世代の男女間ギャップが鮮明に！

男性では60代・70代の満足度が1位も、女性では60代・70代の満足度がワースト1位

次に、恋人や配偶者に対する満足度について質問を行いました。

パートナーがいる人（1,291名）に、パートナーに対して、現時点でどの程度満足しているか聞いたところ、『満足している』（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計、以下同じ）は64.3%、『満足していない』（「満足していない」と「どちらかといえば満足していない」の合計、以下同じ）は14.8%、「どちらともいえない」は20.9%となりました。今のパートナーに満足しているという人が多数派となりました。

性年代別に『満足している』の割合をみると、男性では60代・70代が79.5%で最も高くなりましたが、女性では60代・70代が53.2%で最も低いという真逆の結果となりました。



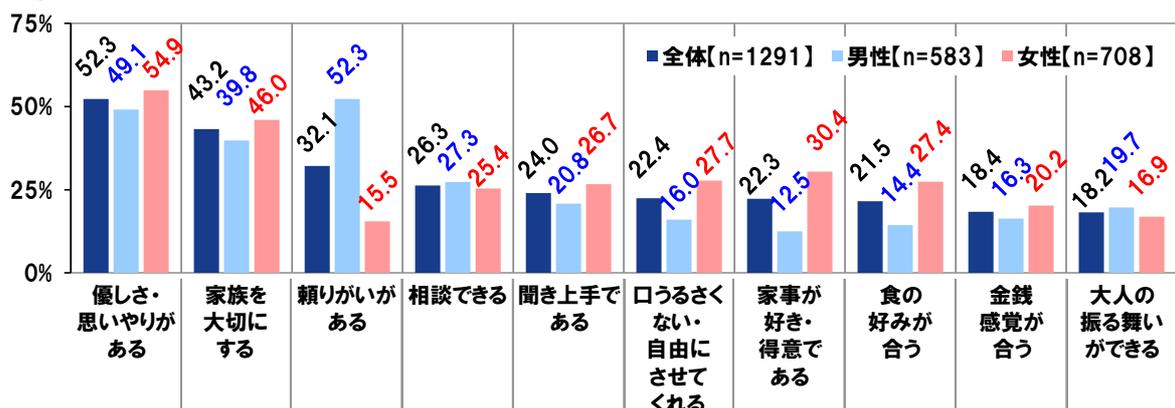
■どんな夫・妻でありたい？ 男性回答1位「頼れる夫」女性回答1位「優しい妻」

また、パートナー（恋人・配偶者）から見て、自分自身がどのような夫・妻でありたいと思うかを聞いたところ、「優しさ・思いやりがある」が最も多く52.3%、次いで、「家族を大切にしたい」が43.2%、「頼りがいがある」が32.1%、「相談できる」が26.3%、「聞き上手である」が24.0%となりました。

男女別にみると、男性では「頼りがいがある」が52.3%で最も高く、女性では「優しさ・思いやりがある」が54.9%で最も高くなりました。頼れる夫でありたいと考える男性や、優しい妻でありたいと考える女性が多いようです。

◆パートナー（恋人・配偶者）から見て、自分自身が、どのような夫・妻でありたいと思うか（複数回答）

対象：パートナーがいる人

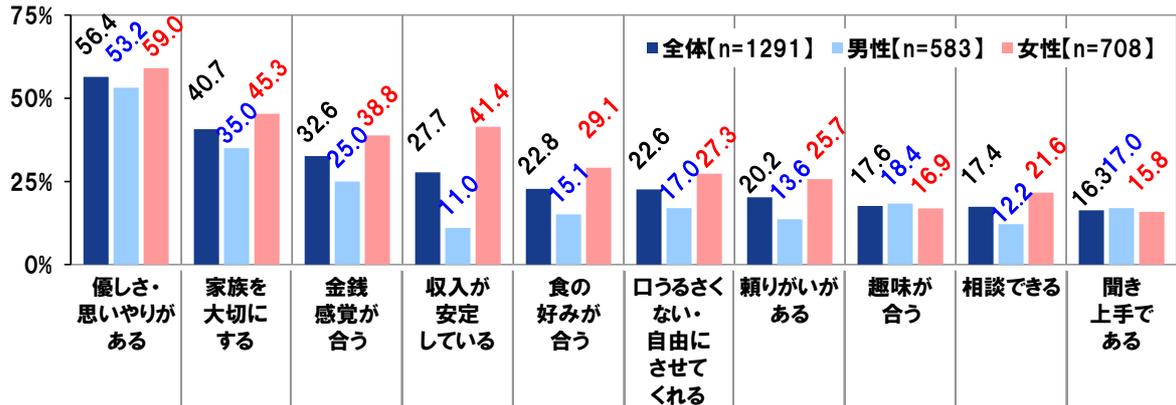


■イマドキ男子はパートナー選びで「収入の安定」を重視？20代男性では昨年比14ポイント上昇

続いて、パートナー（恋人・配偶者）がいる人（1,291名）に、パートナー選びで失敗しないためには、どのような点が絶対に欠かせないポイントだと思うかを聞きました。

最も多かったのは「優しさ・思いやりがある」（56.4%）、次いで、「家族を大切にする」（40.7%）、「金銭感覚が合う」（32.6%）、「収入が安定している」（27.7%）、「食の好み合う」（22.8%）となりました。人柄がポイントだと思う人が多くなったほか、金銭感覚や収入などお金に関する点を重視する人も少なくないことがわかりました。

◆パートナー（恋人・配偶者）選びで失敗しないためには、どのような点が絶対に欠かせないポイントだと思うか（複数回答）
対象：パートナーがいる人

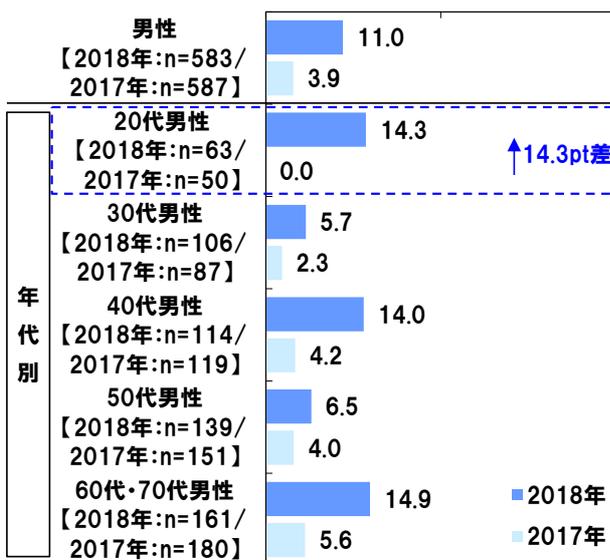


昨年の調査結果と比較し、「収入が安定している」を回答した割合の変化を男女別にみると、男性では2017年3.9%→2018年11.0%と7.1ポイントの上昇となりました。

性年代別にみると、20代男性では2017年0.0%→2018年14.3%と14.3ポイント上昇しました。共働き夫婦の増加や働き方改革の推進を背景に、男性が抱く家庭での役割意識に変化が生まれているようです。

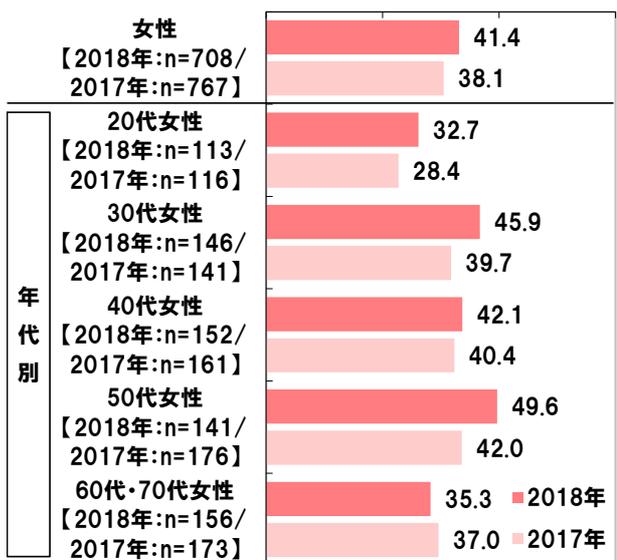
◆パートナー選びで失敗しないためには、＜収入が安定している＞点が絶対に欠かせないポイントだと思う男性の割合

※回答した人の割合を表示 対象：パートナーがいる人



◆パートナー選びで失敗しないためには、＜収入が安定している＞点が絶対に欠かせないポイントだと思う女性の割合

※回答した人の割合を表示 対象：パートナーがいる人



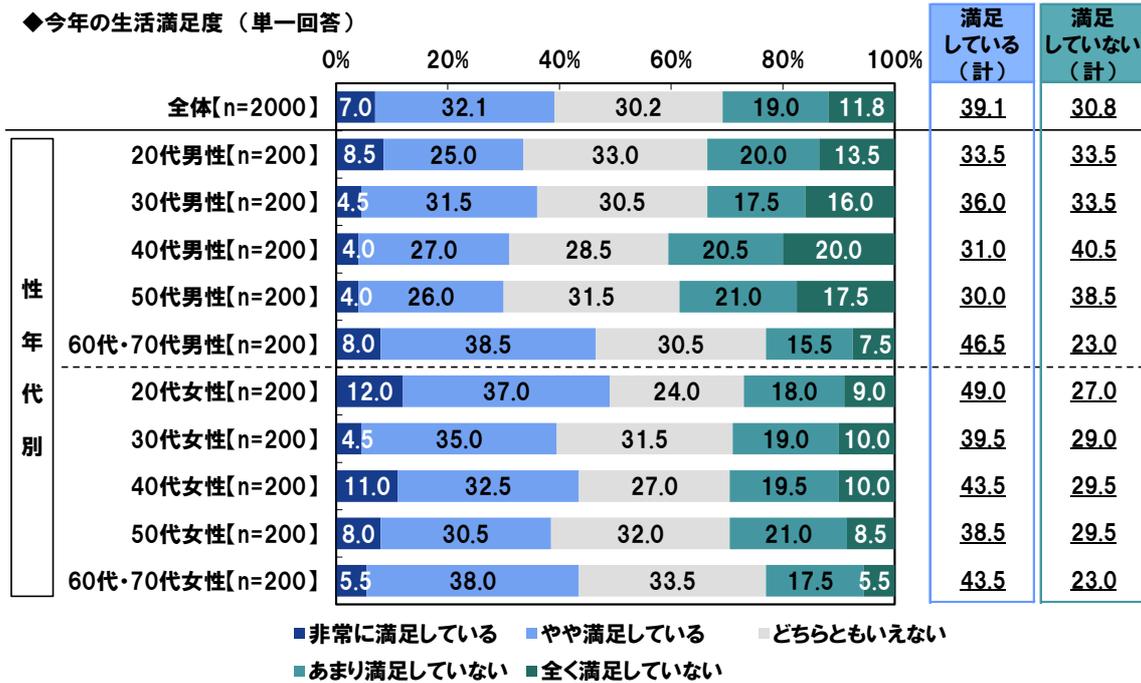
第2章：2018年、人生の満足度を上げてくれたモノ・コト

■2018年を振り返った満足度 「今年一年の生活に満足」39%、生活満足度は西高東低の傾向

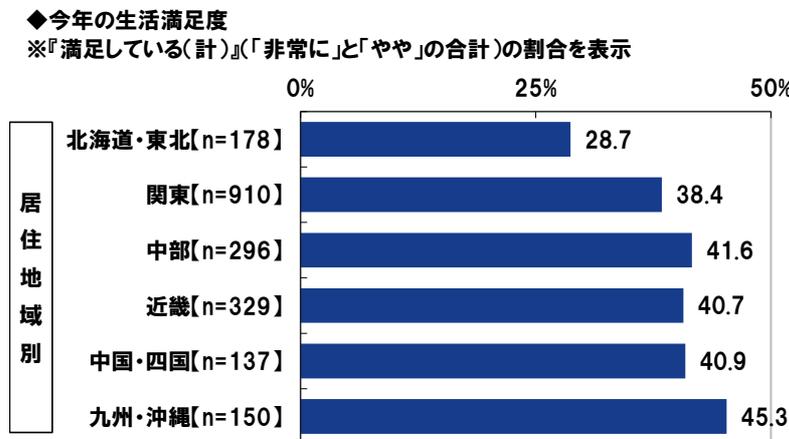
今年（2018年）の1年間を振り返った満足度について質問を行いました。

《今年の生活満足度》について聞いたところ、『満足している』は39.1%、『満足していない』は30.8%、「どちらともいえない」は30.2%となり、『満足している』の割合は人生の総合的な満足度（44.8%）よりも低くなりました。

性年代別にみると、『満足している』の割合は20代から50代までは男性よりも女性のほうが高くなっており、なかでも20代（男性33.5%、女性49.0%）と40代（男性31.0%、女性43.5%）では10ポイント以上の差がみられました。



地域別に『満足している』の割合をみると、北海道・東北 28.7%、関東 38.4%、中部 41.6%、近畿 40.7%、中国・四国 40.9%、九州・沖縄 45.3%と、今年の人生満足度については西高東低の傾向がみられました。



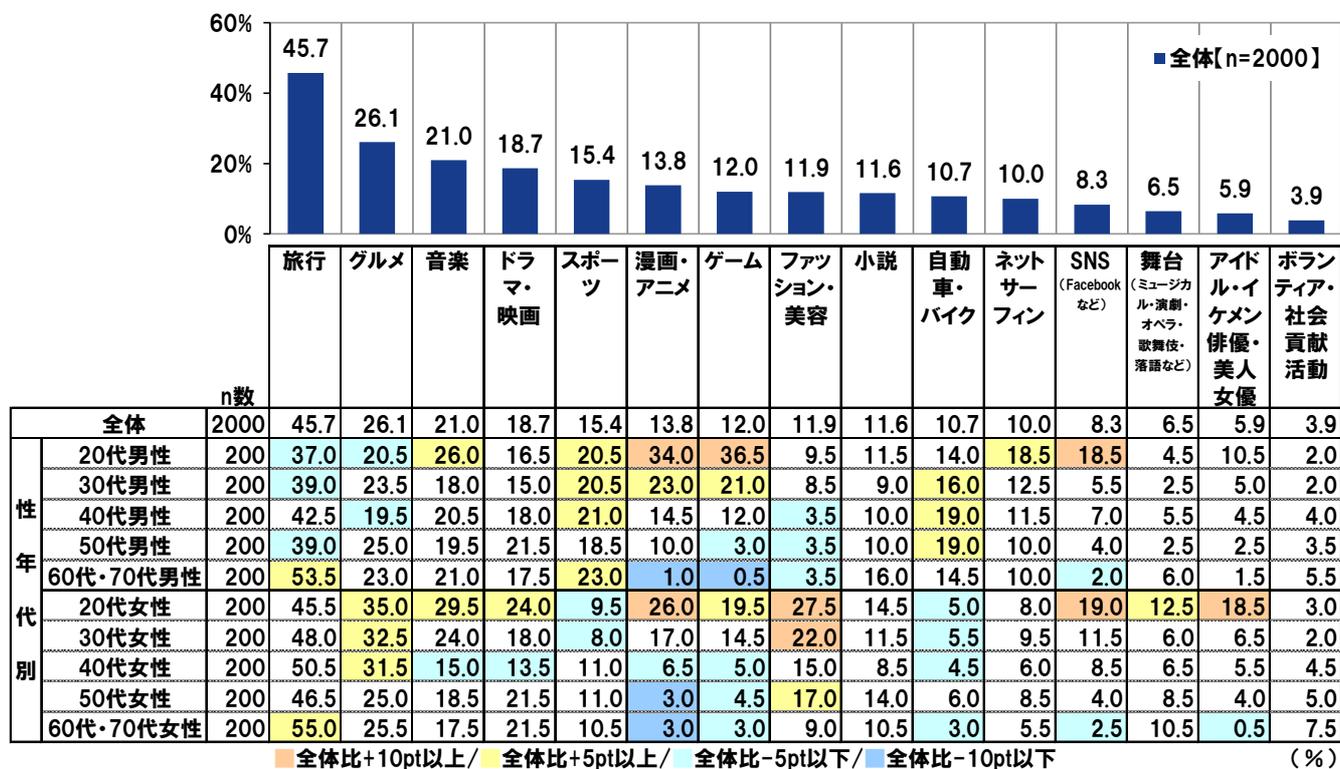
■今年、人生の満足度を上げてくれた趣味・レジャー 「旅行」がダントツ

人生を豊かにしてくれる趣味や娯楽・レジャーについて、質問を行いました。

まず、全回答者（2,000名）に、今年、自身の人生の満足度を向上させたと思う趣味・レジャーは何か聞いたところ、「旅行」が最も多く45.7%、次いで、「グルメ」（26.1%）、「音楽」（21.0%）、「ドラマ・映画」（18.7%）、「スポーツ」（15.4%）となりました。

性年代別にみると、20代男女では「SNS」（20代男性18.5%、20代女性19.0%）が他の性年代層より高くなりました。TwitterやInstagramのほか、今年話題になったTikTokなどのSNSを介した、人との繋がりによって人生満足度が高まったという20代が多いのではないのでしょうか。また、20代男性では「漫画・アニメ」（34.0%）や「ゲーム」（36.5%）、20代女性では「アイドル・イケメン俳優・美人女優」（18.5%）が他の性年代層より高くなりました。好きなキャラクターやイケメン芸能人から人生の潤いをもたらしたという人が20代男女には少なくないようです。

◆今年、自身の人生の満足度を向上させたと思う趣味・レジャー（複数回答）



■熱中しすぎも要注意！？今年、ハマリすぎて人生の満足度がダウンしたものの
20代女性では「SNS」が2年連続ワースト1位に

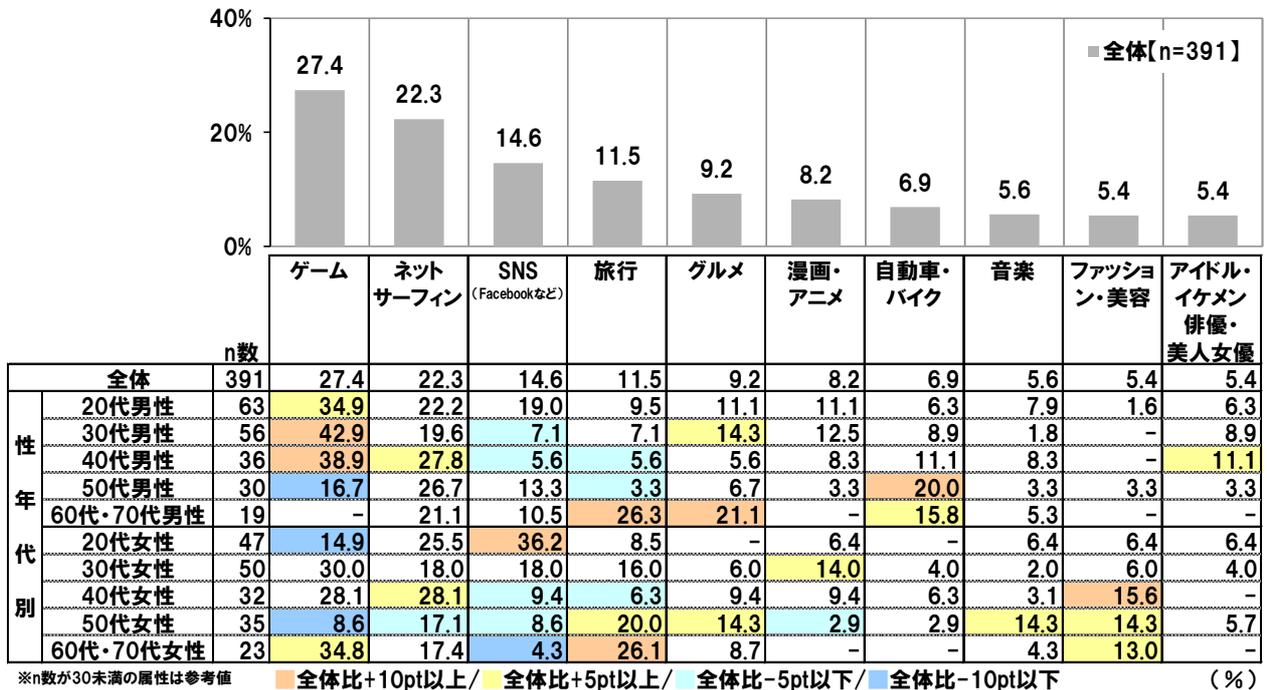
次に、今年、実際にハマリすぎて人生の満足度を低下させたと思う趣味・レジャーは何かを聞きました。

ハマリすぎて人生の満足度を低下させた趣味・レジャーがある人（391名）の回答をみると、「ゲーム」が最も多く27.4%、次いで、「ネットサーフィン」が22.3%、「SNS」が14.6%で続きました。

性年代別にみると、20代女性では「SNS」（36.2%）が他の性年代層より高くなりました。“SNS疲れ”を感じている20代女性も多いようです。そのほか、50代男性では「自動車・バイク」（20.0%）が他の性年代層より高くなりました。クルマやバイクにこだわりすぎて後悔している50代男性は少なくないようです。

◆今年、実際にハマリすぎて人生の満足度を低下させたと思う趣味・レジャー（複数回答）※上位10位までを表示

対象：実際にハマリすぎて人生の満足度を低下させたと思う趣味・レジャーがある人



昨年の調査結果と合わせてみると、20代女性では「SNS」が2年連続1位（2017年38.8%→2018年36.2%）となりました。毎年さまざまなSNSが誕生していますが、次々と試すうちに疲れてしまったという20代女性が多いのではないのでしょうか。

《2017年の調査結果》

◆今年、実際にハマリすぎて人生の満足度を低下させたと思う趣味・レジャー（複数回答）※上位10位までを表示

対象：実際にハマリすぎて人生の満足度を低下させたと思う趣味・レジャーがある人

性年代別	n数	ゲーム	ネットサーフィン	SNS (Facebookなど)	漫画・アニメ	自動車・バイク	アイドル・イケメン俳優・美人女優	旅行	音楽	グルメ	ファッション・美容	
		全体	453	30.9	25.2	13.9	13.5	8.8	8.8	8.2	5.7	5.5
性年代別	20代男性	73	34.2	24.7	19.2	20.5	6.8	8.2	6.8	5.5	5.5	4.1
	30代男性	53	47.2	22.6	7.5	18.9	9.4	5.7	13.2	5.7	5.7	3.8
	40代男性	48	35.4	20.8	6.3	18.8	16.7	12.5	6.3	2.1	6.3	2.1
	50代男性	41	26.8	29.3	2.4	2.4	19.5	2.4	7.3	2.4	2.4	4.9
	60代・70代男性	31	12.9	19.4	3.2	6.5	16.1	3.2	19.4	9.7	12.9	9.7
性年代別	20代女性	67	35.8	16.4	38.8	17.9	3.0	17.9	3.0	10.4	4.5	4.5
	30代女性	48	20.8	27.1	10.4	20.8	6.3	10.4	2.1	6.3	2.1	6.3
	40代女性	43	30.2	32.6	11.6	2.3	2.3	14.0	11.6	2.3	7.0	4.7
	50代女性	32	21.9	31.3	6.3	3.1	9.4	-	9.4	6.3	9.4	12.5
	60代・70代女性	17	23.5	47.1	11.8	-	-	-	11.8	5.9	-	5.9

※n数が30未満の属性は参考値
■ 全体比+10pt以上/■ 全体比+5pt以上/■ 全体比-5pt以下/■ 全体比-10pt以下 (%)

■2018年の人生満足度を上げてくれたニュースは「スポーツ」関係がトップに

1位「大坂なおみさん全米オープン優勝」、2位「サッカーワールドカップでの日本代表の躍進」

2018年には、政治・経済・スポーツ・芸能などの分野で、さまざまな出来事が話題になりましたが、どのようなニュースが人生の満足度に影響を与えたのでしょうか。全回答者（2,000名）に、今年のニュースについて質問を行いました。

《今年、人生の満足度を上げてくれたニュース》は何かを聞いたところ、1位は「大坂なおみさんの全米オープン優勝」となりました。理由をみると、「元気をもらえたから」や「日本人の誇りだと思っから」などのコメントが目立ったほか、「人柄の良さに好感を持ったから」といった回答もみられました。インタビューで垣間見られる素朴なキャラクターが多くの人を惹きつけたようです。2位は「サッカーワールドカップでの日本代表の躍進」で、理由としては「期待を裏切り好成績を上げてくれたから」などの回答がみられました。下馬評を覆し健闘した日本代表の姿に、勇気をもらった人が多いのではないのでしょうか。

そのほか、3位は「本庶佑さんのノーベル医学生理学賞受賞」で、「日本の学問の価値を向上させたと思うから」や「ガン免疫療法の凄さを知ったから」といったコメントが挙げられました。また、5位は「ボランティア尾島春夫さんによる行方不明2歳児発見」で、「お金ではない、人生の価値を感じたから」や「心温まる希望を与えてくれたから」といった回答がみられました。

◆今年、人生の満足度を「上げて」くれたニュース（自由回答）※上位5位までを表示

全体[n=2000]

		件数	理由(抜粋)
1位	大坂なおみさんの全米オープン優勝	53	元気をもらえたから(女性・20代) 日本人の誇りだと思っから(女性・60代) 人柄の良さに好感を持ったから(女性・30代)
2位	サッカーワールドカップでの日本代表の躍進	35	日本が予想以上に活躍したから(女性・50代) 期待を裏切り好成績を上げてくれたから(男性・30代) 悔しい部分も多かったが、予想より頑張ってくれたから(女性・50代)
3位	本庶佑さんのノーベル医学生理学賞受賞	34	信念を買くと報われると思っから(女性・60代) 日本人として誇りしから(男性・20代) 日本の学問の価値を向上させたと思っから(男性・60代) ガン免疫療法の凄さを知ったから(男性・60代)
4位	株価の上昇・好景気	29	景気が良くなりそうだから(男性・30代) 景気上向きによる今後の収入の増加が少しだけ期待できたから(男性・40代)
5位	ボランティア尾島春夫さんによる行方不明2歳児発見	22	お金ではない、人生の価値を感じたから(女性・40代) 子どもの生命力の強さと信じることと諦めないことの大切さを感じたから(女性・30代) 心温まる希望を与えてくれたから(女性・60代)

第3章：平成の時代を振り返る

■ さよなら平成！平成時代の満足度を点数化すると？ 平均点は「61点」

最も高かったのは平成生まれの20代女性「70点」、低かったのは40代男性「53点」

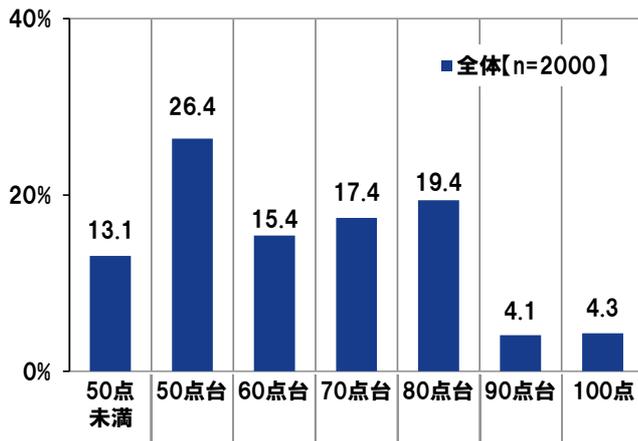
2019年5月の改元で、1989年に始まった平成時代が終わり、新しい時代を迎えます。そこで、全回答者（2,000名）に、平成時代について質問を行いました。

まず、自身の平成時代に対する満足度を点数で表すとしたら、100点満点中、何点になるかを聞いたところ、「50点台」（26.4%）や「80点台」（19.4%）に回答が集まり、平均点は61.3点となりました。

性年代別にみると、最も平均点が高かったのは20代女性の69.6点で、最も低くなったのは40代男性の53.3点でした。

点数区分ごとに、つけた点数の理由をみると、【100点】では「満足した生活ができているから」や「結婚して、子どもが産まれて幸せだから」といった回答が挙げられました。また、【90点台】では「自分が今まで見て感じて生きてきた人生は素晴らしいものだと感じるから」、【80点台】では「非常に幸せだが、収入がもう少し欲しいから」、【70点台】では「ネットワーク技術の向上で便利になった反面、人と人の繋がりが希薄になった気がするから」、【60点台】では「就職氷河期にあたったから」、【50点台】では「何の変革もなかった。予想の出来ない災害の多い時代だったから」、【50点未満】では「何も成し遂げていないから」といったコメントがそれぞれみられました。

◆平成時代に対する満足度を点数で表すとしたら、100点満点中、何点になると思うか（数値回答）



◆平成時代に対する満足度を点数で表したときの平均点

		0点	50点	100点
性年代別	全体[n=2000]	61.3点		
	20代男性[n=200]	63.2点		
	30代男性[n=200]	59.2点		
	40代男性[n=200]	53.3点		
	50代男性[n=200]	56.8点		
	60代・70代男性[n=200]	61.3点		
	20代女性[n=200]	69.6点		
	30代女性[n=200]	67.1点		
	40代女性[n=200]	62.4点		
	50代女性[n=200]	59.3点		
60代・70代女性[n=200]	61.3点			

◆つけた点数の理由（自由回答）※点数区分ごとに抜粋

点数区分	理由（抜粋）
100点	満足した生活ができているから（男性・20代） 結婚して、子どもが産まれて幸せだから（女性・40代） 良くも悪くも思い出ばかりだから（男性・50代）
90点台	自分が今まで見て感じて生きてきた人生は素晴らしいものだと感じるから（男性・20代） 家族みんなで幸せだったから（女性・20代） 株価が徐々に戻ってきているから（男性・60代）
80点台	非常に幸せだが、収入がもう少し欲しいから（女性・40代） 便利になった反面、しがらみも増えたから（男性・20代） 不況といえど、平和であり、スマートフォンの普及もあって国内外との交流が増えたから（女性・20代）
70点台	ネットワーク技術の向上で便利になった反面、人と人の繋がりが希薄になった気がするから（女性・20代） まだまだ改善の余地があるから（女性・40代） 経済面など、不安要素があるから（女性・50代）
60点台	就職氷河期にあたったから（女性・40代） 景気も良くなく、値上げばかりで家計が厳しいから（女性・30代） 安定した生活ではあったが盛り上がりなかったから（男性・60代）
50点台	何の変革もなかった。予想の出来ない災害の多い時代だったから（男性・40代） 低成長の閉塞感が否めないから（男性・40代） ハブルの崩壊、リーマンショックなど、私を含め人生を大きく狂わされたから（男性・40代）
50点未満	何も成し遂げていないから（男性・30代） 平成になってから戦争はないが犯罪と災害で沢山の不幸があったと思うから（女性・60代） 消費税がとんとん拍子で上がり、生活は豊かにならないから（女性・40代）

■時代を漢字一字で振り返り 「平成」を表す漢字 男性回答1位「平」、女性回答1位「苦」

では、自身が生きてきた平成時代を“漢字一字”で表すとしたら、どのような漢字を選ぶ人が多いのでしょうか。

全回答者（2,000名）に、自身が生きてきた平成時代を表す漢字を聞いたところ、「平」と「苦」が同数で1位となりました。「平」を選んだ理由としては、「平凡だと思ったから」や「平和だったから」、「良いことも悪いこともない平穏な感じだったから」などが挙げられました。「苦」を選んだ理由としては、「就職難で大変だったから」や「苦しいデフレだったから」といったコメントがみられました。

3位以下をみると、3位は「変」、4位は「生」、5位は「災」となりました。

男女別にみると、男性回答では1位「平」、2位「苦」、3位「生」、女性回答では1位「苦」、2位「変」、3位「平」となりました。男女で平成時代に対する捉え方に違いがあるようです。

◆自身が生きてきた平成時代を表す漢字とその漢字を選んだ理由（各自由回答）※上位10位までを表示

全体[n=2000]

		件数	理由(抜粋)
1位	平	104	平凡だと思ったから(男性・30代) / 平和だったから(女性・30代) 良いことも悪いこともない平穏な感じだったから(女性・40代) 激動の昭和からすると全体に平和な時間が多かったと思うから(女性・50代)
	苦	104	就職難で大変だったから(女性・30代) 苦しいデフレだったから(男性・20代) いつを振り返っても、苦しい思い出が思い浮かぶから(女性・40代)
3位	変	74	平成の間に世間も自分の周りも色々な変化があったから(女性・50代) 変化が多い年代だったから(女性・40代) 短い期間で変化が激しい時代だったから(女性・20代)
4位	生	69	一生懸命に生きてきたから(女性・60代)
5位	災	58	地震・豪雨・噴火といった災害が多発したから(男性・60代)
6位	楽	43	充実した楽しい時間ばかりだったから(女性・20代)
7位	乱	40	高度成長期を過ぎ、予測しがたい要素が増えたから(男性・50代)
8位	忍	38	我慢することが多かったから(男性・50代)
9位	幸	35	幸福な時代であってほしいから(女性・30代)
10位	動	33	人間もテクノロジーも大きく動いたから(男性・40代)

◆自身が生きてきた平成時代を表す漢字（自由回答）※上位10位までを表示

男性[n=1000]

		件数
1位	平	67
2位	苦	57
3位	生	33
4位	変	30
5位	災	26
6位	忍	19
7位	乱	18
8位	安	16
9位	楽	14
10位	動	13

女性[n=1000]

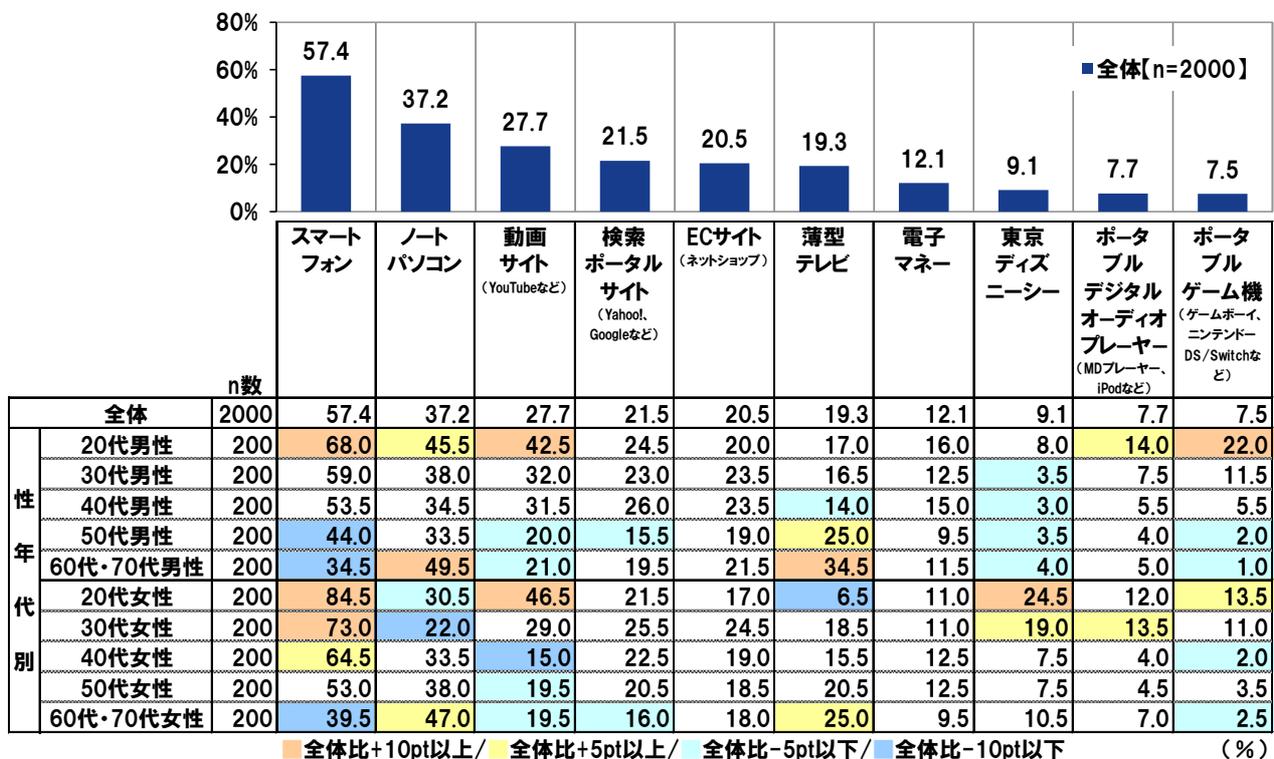
		件数
1位	苦	47
2位	変	44
3位	平	37
4位	生	36
5位	災	32
6位	楽	29
7位	幸	24
8位	乱	22
9位	動	20
	和	20

■ 人生の満足度を上げてくれた平成生まれのもの 1位「スマートフォン」
 ユーチューバーのおかげ？20代女性の4割半が「動画サイト」で人生満足度アップ

全回答者（2,000名）に、「人生の満足度を上げてくれた、平成生まれのもの」を聞いたところ、1位「スマートフォン」（57.4%）、2位「ノートパソコン」（37.2%）、3位「動画サイト（YouTube など）」（27.7%）、4位「検索ポータルサイト（Yahoo!、Google など）」（21.5%）、5位「ECサイト（ネットショップ）」（20.5%）となりました。2010年代に急速に普及したスマートフォンによって、人生の満足度が向上したと感じる人が多いようです。

性年代別にみると、20代男性と20代女性では「動画サイト（YouTube など）」（20代男性 42.5%、20代女性 46.5%）が他の性年代層より高くなりました。“ユーチューバー”と称される職業が平成時代に誕生し、若者の間で人気を集めていますが、ユーチューバーに人生の満足度を上げてもらったという20代が少なくないようです。また、60代・70代男性では「ノートパソコン」（49.5%）や「薄型テレビ」（34.5%）が他の性年代層より高くなりました。

◆ 人生の満足度を上げてくれた、平成生まれのもの（複数回答）※上位10位までを表示



■感動を与えてくれた平成のアスリート 1位「羽生結弦さん」 あの野球選手も上位にランクイン

全回答者（2,000名）に、「感動を与えてくれた、「平成のアスリート」」を聞いたところ、1位「羽生結弦さん」、2位「イチローさん」、3位「浅田真央さん」、4位「大谷翔平さん」、5位「大坂なおみさん」となりました。2018年（平成30年）に開催された平昌五輪で、2連覇を達成した羽生結弦さんに感動をもらったという人が多いようです。

男女別にみると、男性の回答では、1位「イチローさん」、2位「大谷翔平さん」とプロ野球選手が上位2位でしたが、女性の回答では、1位「羽生結弦さん」、2位「浅田真央さん」とフィギュアスケート選手が上位2位となりました。また、女性の回答では、3位に、日本人初となる4大会のシングルス優勝という快挙を成し遂げた「大坂なおみさん」がランクインしました。

◆感動を与えてくれた、「平成のアスリート」(スポーツ選手) (自由回答) ※上位10位までを表示

全体[n=2000]			男性[n=1000]			女性[n=1000]		
順位	名前	件数	順位	名前	件数	順位	名前	件数
1位	羽生結弦	267	1位	イチロー	122	1位	羽生結弦	220
2位	イチロー	149	2位	大谷翔平	67	2位	浅田真央	100
3位	浅田真央	115	3位	羽生結弦	47	3位	大坂なおみ	44
4位	大谷翔平	109	4位	大坂なおみ	38	4位	大谷翔平	42
5位	大坂なおみ	82	5位	錦織圭	23	5位	イチロー	27
6位	錦織圭	40	6位	松井秀喜	18	6位	錦織圭	17
7位	北島康介	25	7位	浅田真央	15	7位	高橋大輔	14
8位	松井秀喜	21	8位	北島康介	15	8位	北島康介	10
9位	本田圭佑	17	9位	本田圭佑	15	9位	内村航平	8
10位	内村航平	16	10位	中田英寿 / 内村航平	各8	10位	松坂大輔	7

■平成を代表する歌手 男性歌手は1位「Mr.Children」、女性歌手は「安室奈美恵さん」がダントツ

次に、「平成を代表する歌手」を聞いたところ、男性歌手では1位「Mr.Children」、2位が僅差で「平井堅さん」、3位「SMAP」、4位「米津玄師さん」、5位「嵐」となりました。

男女別にみると、男性の回答では1位「Mr.Children」、2位「平井堅さん」、女性の回答では1位「平井堅さん」、2位「Mr.Children」と男女で順位が逆転する結果となりました。

◆「平成を代表する歌手」<男性歌手> (自由回答) ※上位10位までを表示

全体[n=2000]			男性[n=1000]			女性[n=1000]		
順位	名前	件数	順位	名前	件数	順位	名前	件数
1位	Mr.Children(平成元年)	66	1位	Mr.Children(平成元年)	34	1位	平井堅(平成7年)	37
2位	平井堅(平成7年)	65	2位	平井堅(平成7年)	28	2位	Mr.Children(平成元年)	32
3位	SMAP(平成3年)	45	3位	福山雅治(平成2年)	16	3位	SMAP(平成3年)	30
4位	米津玄師(平成25年)	39	4位	SMAP(平成3年)	15	4位	嵐(平成11年)	29
5位	嵐(平成11年)	35	5位	EXILE(平成13年)	12	5位	米津玄師(平成25年)	28
6位	福山雅治(平成2年)	34	6位	桑田佳祐(昭和62年)	12	6位	福山雅治(平成2年)	18
7位	EXILE(平成13年)	22	7位	コブクロ(平成13年)	11	7位	星野源(平成22年)	14
8位	ゆず(平成10年)	20	8位	氷川きよし(平成12年)	11	8位	三浦大知(平成17年)	13
9位	コブクロ(平成13年)	19	9位	米津玄師(平成25年)	11	9位	ゆず(平成10年)	11
	星野源(平成22年)	19	10位	B'z(昭和63年)	10		小田和正(昭和61年)	11

*歌手名に続く括弧内にはCDデビュー年(グループ活動の後にソロ活動に転じた場合はソロ活動の開始年)を記載

また、女性歌手では、「安室奈美恵さん」がダントツとなり、2位「宇多田ヒカルさん」、3位「MISIAさん」、4位「Superfly」、5位「浜崎あゆみさん」となりました。2018年（平成30年）9月に引退した安室奈美恵さんの歌声が忘れられないという人が多いようです。

◆「平成を代表する歌手」◀女性歌手▶（自由回答）※上位10位までを表示

全体[n=2000]			男性[n=1000]			女性[n=1000]		
順位	歌手名(デビュー年)	件数	順位	歌手名(デビュー年)	件数	順位	歌手名(デビュー年)	件数
1位	安室奈美恵(平成7年)	412	1位	安室奈美恵(平成7年)	157	1位	安室奈美恵(平成7年)	255
2位	宇多田ヒカル(平成10年)	93	2位	宇多田ヒカル(平成10年)	52	2位	宇多田ヒカル(平成10年)	41
3位	MISIA(平成10年)	35	3位	Superfly(平成19年)	15	3位	MISIA(平成10年)	22
4位	Superfly(平成19年)	26	4位	AKB48(平成18年)	13	4位	西野カナ(平成20年)	16
5位	浜崎あゆみ(平成10年)	22		MISIA(平成10年)	13	5位	Superfly(平成19年)	11
6位	西野カナ(平成20年)	20	6位	浜崎あゆみ(平成10年)	11		浜崎あゆみ(平成10年)	11
7位	中島みゆき(昭和50年)	16	7位	中島みゆき(昭和50年)	9	7位	椎名林檎(平成10年)	9
8位	椎名林檎(平成10年)	15	8位	椎名林檎(平成10年)	6		いきものがかり(平成18年)	7
9位	AKB48(平成18年)	14	9位	aiko(平成10年)/miwa(平成19年) /ZARD(平成3年)/DREAMS COME TRUE(平成元年)	各5	8位	中島みゆき(昭和50年)	7
10位	吉田美和(平成7年)	11					吉田美和(平成7年)	7
							絢香(平成18年)	7

*歌手名に続く括弧内にはCDデビュー年(グループ活動の後にソロ活動に転じた場合はソロ活動の開始年)を記載

■心に刻みたい、平成の名言 1位は「チョー気持ちいい」(北島康介さん：平成16年)

最後に、全回答者(2,000名)に、「心に刻みたい「平成の名言」」を聞いたところ、1位は、2004年(平成16年)アテネ五輪水泳で金メダルを獲得した時の北島康介さんの言葉「チョー気持ちいい」となりました。2位は、2001年(平成13年)大相撲夏場所で優勝した貴乃花に、当時の小泉純一郎首相がかけた言葉「痛みに耐えてよく頑張った!感動した!」でした。3位は、2008年(平成20年)の二度目の金メダル獲得の際に北島康介さんが発した「何も言えねえ」、4位は1996年(平成8年)アトランタ五輪女子マラソンで銅メダルを獲得した有森裕子さんの言葉「自分で自分をほめたい」、5位は、予備校の人気講師である林修さんの言葉「いつやるか?今でしょ!」、人気タレントのマツコ・デラックスさんの言葉「自分が幸せかどうかは、自分で決めるしかないのよ」となりました。

◆心に刻みたい、「平成の名言」(自由回答)※上位10位までを表示

全体[n=2000]

順位	名言	発言者(時期)	件数
1位	チョー気持ちいい	北島康介(平成16年)	52
2位	痛みに耐えてよく頑張った!感動した!	小泉純一郎(平成13年)	25
3位	何も言えねえ	北島康介(平成20年)	18
4位	自分で自分をほめたい	有森裕子(平成8年)	16
5位	いつやるか?今でしょ!	林修(平成21年)	7
	自分が幸せかどうかは、自分で決めるしかないのよ	マツコ・デラックス(平成23年)	7
7位	おごらず、人と比べず、面白がって、平気に生きればいい	樹木希林(時期不詳)	6
	生きてるだけで丸儲け	明石家さんま(時期不詳)	6
	大迫半端ないって!	中西隆裕(※)(平成21年)	6
	倍返した!	ドラマ『半沢直樹』より(平成25年)	6

※2018年のサッカーワールドカップで活躍した大迫勇也選手が高校時代に出場した全国高等学校サッカー選手権大会の準々決勝で、大迫選手が属していた鹿児島城西高校の対戦相手だった滝川第二高校所属の選手

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入しているため、合計しても100%とならない場合がございます。
また、属性別集計において抜粋して表示している場合は、n数を合計しても全体と一致しない場合がございます。

- ◆調査タイトル：人生の満足度に関する調査 2018
- ◆調査対象：ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
全国の20～79歳の男女
- ◆調査期間：2018年10月9日～10月11日
- ◆調査方法：インターネット調査
- ◆調査地域：全国
- ◆有効回答数：2,000サンプル
(有効回答から性別×年代区分が均等になるように抽出)

(内訳)	20代	30代	40代	50代	60代・70代
男性	200	200	200	200	200
女性	200	200	200	200	200

- ◆調査協力会社：ネットエイジア株式会社

■■会社概要■■

会社名：プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社
 代表者名：代表取締役社長 兼 CEO 阪本 浩明
 営業開始：2009年6月1日
 本社所在地：東京都千代田区永田町 2-13-10
 業務内容：生命保険業
 (営業種目：個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険)

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「PGF生命調べ」と付記のうえご使用いただきますようお願い申し上げます。